

神戶市ナリスト協会の発行物

運動方針に關する決議案

經濟界と勞働者

政府のインフレーション政策其の他資本主義的對症療法及び圓の暴落、滿洲事變に伴ふ軍需品工業の活況等によつて、本年七月頃より物價は高騰を来し、最近に至つては貿易また出超となり、新聞は「久し振りに勞働者の解雇より雇へ超過」と力言を報導してゐる。

然らば果して景氣は回復したのであるか、資本主義は立ち直つたのであるか、との問ひに對して我々は明白に回答せんと答へざるを得ぬ。素より多少の活況を定めてゐることは事實である。しかし乍らその活況はインフレーション政策の如き注射薬と、對外為替平價に比し六割以上も暴落した圓價によるものであり、また赤字に悩み抜く國策財政より劇期的巨額を支出しつゝある軍需費によるものであることを正しく見なければならぬのである。従つて今日の活況が資本主義繁榮の方へ進むなりを持つので